

新出漢字の学習内容がすっきり整理できる板書のくふう

以下の内容が構造的に（＝相互関係がわかるように）示されているかが大事。

(1)意味（単語の意味の共通のイメージや派生のように）、(2)音訓、(3)使い方

6年「降」の場合

(1)

<p>(3)</p> <p>共通のイメージ</p> <p>↓</p> <p>(おちる、おりる、のち)</p>	<p>訓</p> <p>ふ 降る、 お 降りる</p>	<p>音</p> <p>こう 降</p>
<p>(2)</p> <p>ある地点から</p> <p>↓ (ふる、おりる)</p> <p>ある地点からの降下</p>	<p>雨が降る。 （雨降り、どしゃどしゃ土砂降り）</p> <p>バスから降りる。 （乗り降り）</p>	<p>こう 降雨 （降水量、降雪）</p> <p>こうしゃ 降車 （降下、下降、乗降客）</p>
<p>(1)</p> <p>ある時から</p> <p>↓ (のち)</p> <p>時間的な降下</p>	<p>主役の立場から降りる。</p>	<p>カードは、三月三日以降に発売します。</p> <p>敵は、ついにかつきて降参した。</p>

・(1) 音訓の用例を挙げさせ、板書（右図2、3段目）の後、

(2) ①②③の意味やイメージを考えさせ（右図1段目）、

(3) そのうえで①②③に共通のイメージを考えさせる授業を構想することができる。

(1) 語例、使いかたから、(2) ①②③の意味を抽出し、

さらに(3) 「降」に共通のイメージを考える授業です。

↓ (右図 共通のイメージの枠)

・(1) の用例を分析して、(2) の①②③のイメージに抽象化し、

さらに①②③を抽象化・総合して(3) のイメージ ↓ にいたるといふ考えです。